

安全管理室 だより 6 がっ

Vol. 101

1. 医療安全に関する用語

1 医療事故とは



医療従事者が行う業務上およびそれに起因する事故の総称。過失が存在するものと、不可抗力（偶然）によるものの両方が含まれる。

2 医療過誤とは



医療従事者が行う業務上およびそれに起因する事故のうち、**過失の存在を前提としたもの。**

3 インシデント（ヒヤリハット）とは



具体的には、ある行為が

- 1 患者には実施されなかったが、仮に実施されたとすれば何らかの**影響が予測される場合**
- 2 患者に実施されたが、結果的に被害がなくまたその後の観察も不要であった場合

4 アクシデントとは



アクシデントとは、医療事故に相当する用語である。インシデントに気づけなかったり、適切な処置が行われないと**傷害を引き起こし**医療事故となる。

5 インシデントレポートとは



目的

個人を罰することではなく、事故の再発防止に活用する



意義

事象における問題を分析、改善することで医療事故を未然に防ぐ



6 インシデントレポートの意義

患者安全の確保



病院が速やかに介入することで、事後患者に適切な治療を施すことができる。

リスクの分散



報告した時点で、個人の問題から病院の管理問題となる。

透明性の確保



報告していれば、少なくとも隠すつもりはなかったことの証明になる。

正式な支援



報告症例の治療、補償などに関して、病院からの全面的なサポートが得られる。

システムの改善



報告をきっかけに再発予防策などにも取り組むことができる。



「気づき・報告・共有・改善」のサイクルで、**安全な医療を実現しましょう！**

気づき

いつもと違うことに気づく

報告

迷わず、ためらわず報告する

共有

情報を共有し、分析する

改善

再発予防につなげる



みんなの力で
医療安全！

小さな気づきが、大きな事故を防ぎます。ご協力をよろしくお願いいたします。

医療安全管理室

5月のGoodJob報告

入浴準備時、浴槽の湯温が54℃となっていた。利用者のシャワーが「熱い」という訴えにより異常に気づき、湯温調整を行い、湯温確認後に安全に入浴していただいた。重大事故につながる前に防ぐことができた。

考察

利用者の声に注意を向け、すぐに温度確認を行ったことで事故防止に繋がった。蛇口の設定温度で安心せず、実際の湯温の確認を行う重要性を再認識できた。小さな違和感を見逃さず対応する安全意識の大切さが示された。

